

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-04-01	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	観光情報提供事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎		
		担当者名	本宮・増山・斉	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	観光情報提供事業					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 29年度 ○ 28年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	○ 昭和 ● 平成 14 年度 根拠						
終期設定	○ 有 ● 無 年度 法令等						
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ● 計画 ○ 非計画						
行政評価事業体系	分野	産業革新都市					
	政策	06 人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02 受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。						
対象者等	区外の人々及び区への来訪者						
内容	イベントカレンダー作成(14年度～)、H22、23英語版、HPに区内行事のインターネット動画配信(14年度～)、HPに都電荒川線花見どころサイトの開設(14年度～26年度) 27年度より区HPへ統合 まちあるきマップ作成(17年度 日暮里・南千住、18年度 都電荒川線沿線、19年度 日暮里・南千住改訂、20年度 都電荒川線沿線に舍人ライナーを含め改訂、21年度 日暮里・南千住改訂、日暮里・谷中マップ作成、22年度 都電舎人ライナー沿線、24年度 南千住改訂、27年度 日暮里改訂・千住散策マップ改訂・日暮里・谷中増刷改訂、28年度 全マップ増刷)、観光PR協力所設置94か所(H29.3.31現在)、都電荒川線散策マップ(19年度)、行政観光パンフレット作成(20年度作成、23年度改訂)、観光スポット特集冊子の作成(20年度)、京成日暮里駅構内PRコーナー運営(24年度～ 掲示板2か所、ラック 1台)、イメージポスター作成(24年度)、ツイッター開始(24年度)、日暮里駅前イベント広場電光掲示板情報更新(25年度～) 南千住駅構内PRコーナー運営(26年度～ 机1台、パーテーション1台)						
経過	○平成22年度から観光ボランティアガイド事業を受入体制整備事業へ移管した。 ○区内行事のインターネット動画配信 18年度から9件(都電荒川線のバラ、素盞雄神社天王祭、諏訪神社御神幸祭、胡録神社例大祭、尾久八幡神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、元三島神社神幸祭、熊野前サンバカーニバル)を常時配信していたが、21年度に主要5イベントに一本化(ダイジェスト版を作成)した。 ○都電荒川線花見どころサイトは、産業HPで運営していたが、産業HPの廃止に伴い、27年度に区HPへ統合した。 ○Twitterは28年4月1日を以て広報課アカウントと統合した。						
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ及び来訪者の増加が期待できる。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員)						

(単位：千円)

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		4,155	2,226	1,237	1,338	3,446	3,534	3,563
決算額(29年度は見込み)		3,475	1,485	862	731	3,348	3,227	3,563
実績の推移	事項名(29年度は見込み)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	イベントカレンダー	33,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	まちあるきマップ(区単独)	118,000	118,000	-	100,000	112,000	37,000	92,000
	まちあるきマップ(他区連携)	150,000	-	67,000	-	60,000	262,000	-
	観光PR協力所設置件数(延べ)	67	74	79	85	91	94	95

予算・決算の内訳								
平成27年度(決算)			平成28年度(決算)			平成29年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	観光PR協力所関連物品購入ほか	178	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	2,900	需用費	まちあるきマップ作成ほか	3,163
委託料	まちあるきマップ作成ほか	3,170	委託料	まちあるきマップ作成費ほか	327	委託料	写真撮影委託ほか	400

		勘定科目			27年度	28年度	差額			勘定科目			27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	-	7,298	-	行政収入	地方税	-	0	-					
		物件費	-	3,227	-		国庫支出金	-	0	-					
		維持補修費	-	0	-		都支出金	-	0	-					
		扶助費	-	0	-		分担金及び負担金	-	0	-					
		補助費等	-	0	-		使用料及び手数料	-	0	-					
		減価償却費	-	0	-		その他	-	0	-					
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-		行政収入合計(a)	-	0	-					
		賞与・退職給与引当金繰入額	-	369	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 10,894	-					
		その他行政費用	-	0	-		金融収支差額(d)	-	0	-					
		行政費用合計(b)	-	10,894	-		通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 10,894	-					
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-							
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 10,894	-							
備考	行政費用としては、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、イベントカレンダー作成費262,440円やまちあるきマップ作成費1,944,667円などを支出している。														

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
	観光PR協力所の設置件数(延べ件数)	85	91	94	95	113	

問題点・課題	区への来訪者を増やすためには区外への情報発信が不可欠となるが、そのためには、新たなツールを積極的に開拓していく必要がある。 オリンピック・パラリンピック開催に伴い、今後増加が予想される外国人観光客に向けた情報発信手段を確保していく必要がある。 区外へのイベント等の情報発信を強化するため、ポスター等の掲示が可能な協力先(区外の駅や施設等)を開拓する必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	マスメディア等への情報提供を積極的に行っていくとともに、区外向けの新たな情報発信手段について検討する。	新たにTX各駅、都営地下鉄駅、公園協会管理の都立公園(7園)等へチラシ等を配置するなど、区外への情報発信について充実を図った。	区外への情報発信を充実させるため、引き続き区外向けの情報発信手段について検討する。
	区内駅の観光PRコーナーの掲示スペースを有効活用し、様々な区の観光情報やイベント情報を発信していく。	定期的に職員が観光パンフレットやイベントチラシの配置を行い、情報発信を行った。	区内駅の観光PRコーナーの掲示スペースを有効活用し、様々な区の観光情報やイベント情報を積極的に発信していく。
	今後も外国人向けの情報発信に係る強化策について検討する。	日暮里と南千住に英語対応可能なスタッフを配置した観光案内所等を設置し、外国人旅行者向けの情報発信体制の強化を図った。	観光案内所等を拠点として活用し、外国人をはじめとした旅行者に対して、きめ細かな情報発信を行っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた、様々な情報発信を促進していく。

議決(要質問状)	H24一定 日暮里駅周辺において、地元と協力して情報発信を進めるべき。 H28決特 海外の有名なブロガーを活用した情報発信を行ってはどうか。 H29予特 太田道灌を活用し、観光客誘致のためのPRを行うべき。
----------	---

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード		06-04-02	戦略プラン	● 協働	○ 業務	○ 財務	○ 人事
事務事業名	荒川区観光大使 P R 事業			部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎	
		担当者名	本宮		内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-02	荒川区観光大使 P R 事業						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 29年度 ○ 28年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業							
開始年度	○ 昭和 ● 平成		18 年度	根拠	荒川区観光大使設置要綱			
終期設定	○ 有 ● 無		年度	法令等				
実施基準	○ 法令基準内		○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画 ● 非計画		
行政評価事業体系	分野	産業革新都市						
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	「荒川区観光大使」による P R 活動により区のイメージアップを図る。							
対象者等	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人 区民、区外の人々及び来訪者							
内容	（観光大使） 城戸真亜子（洋画家）、三遊亭好楽（落語家）、井崎脩五郎（競馬評論家・タレント）、片岡鶴太郎（俳優・画家）の4名 区の最新情報（旬な話題、観光イベント情報、観光パンフ等）を随時提供。 観光大使用PR物品を作成し、それぞれの立場において機会のあるごとに荒川区をPRしてもらう（名刺、都電荒川線ポストカード等） 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。							
経過	平成19年度 観光大使が区の魅力を紹介する「私の大好きなまち」作成(23年度改定) 平成21年度 区長との意見交換会を実施(城戸氏、好楽氏、井崎氏が出席) 平成22年度 区長との意見交換会を実施(好楽氏、井崎氏が出席) 平成28年度 観光大使名刺提示による特典の拡大(区施設(あらかわ遊園、荒川ふるさと文化館)の利用料無償化)							
必要性	著名人の協力による幅広い人脈やネットワークを活かし、区の知名度及びイメージの向上を効果的に図ることができる。							
実施方法	(1直営) (直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員)							

(単位：千円)

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		586	638	236	192	166	126	136
決算額（29年度は見込み）		292	353	10	91	47	43	136
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	観光大使任命(人)	0	0	0	0	0	0	0
	区長との対談(回)	0	0	0	0	0	0	1
	PR活動(名刺等作成)(枚)	10,000	2,500	-	2,000	2,000	2,000	-
	あらかわの魅力伝え隊	0	0	0	0	0	0	0

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	大使 P R 物品購入ほか	47	需用費	大使 P R 物品購入費ほか	43	需用費	大使 P R 物品購入費ほか	118
						使用料等	大使会会場使用料	18

行政コスト計算書	勘定科目			27年度	28年度	差額	勘定科目			27年度	28年度	差額
	行政費用	給与関係費	-	1,363	-	行政収入	地方税	-	0	-		
		物件費	-	43	-		国庫支出金	-	0	-		
		維持補修費	-	0	-		都支出金	-	0	-		
		扶助費	-	0	-		分担金及び負担金	-	0	-		
		補助費等	-	0	-		使用料及び手数料	-	0	-		
		減価償却費	-	0	-		その他	-	0	-		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-		行政収入合計(a)	-	0	-		
		賞与・退職給与引当金繰入額	-	69	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 1,475	-		
		その他行政費用	-	0	-		金融収支差額(d)	-	0	-		
		行政費用合計(b)	-	1,475	-		通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 1,475	-		
		特別費用(g)	-	0	-		特別収入(f)	-	0	-		
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-		当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 1,475	-		
備考	行政費用としては、給与関係費と賞与・退職給与引当金繰入額を除くと物件費であり、28年度は観光大使使用の名刺作成費として、42,984円を支出している。											

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
指標	区長との対談(回)		0	0	0	1	1	

問題点・課題	観光大使に荒川区をPRしてもらうため、区の最新動向などを定期的にかつ、きめ細かく情報提供する必要がある。												
他区の実況	(実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区) 中央区(ミス中央)3人、台東区(たいとう観光大使)22人、豊島区(ソメイヨシノ桜の観光大使)3人、大田区(大田区観光PR特使)16人、渋谷区(スポーツアンバサダー、ナイトアンバサダー等)18人、北区(北区アンバサダー)5人、墨田区(すみだ親善大使)3人、葛飾区(かつしか観光大使)2人												

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	引き続き観光大使へ区の観光情報を定期的に提供していく。	観光大使4名へ延べ7回、区内のイベント情報や区政情報等の提供を行った。なお、今年度より送付物として区報及び区政Now!を追加した。	引き続き観光大使へ区の観光情報等を定期的に提供していく。
	引き続き区外で活動する機会のある人に荒川区の魅力発信を行ってもらえるような仕組みづくりを検討する。	PR効果を高めるため、観光大使名刺提示による特典の拡大(区施設の利用料無償化)を図った。	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	観光大使のPR力を活用し、引き続き区の魅力を発信していく。

議決(要旨)	H28予特 著名人ではなく、一般の方による区の魅力発信を行ってはどうか。 H28予特 観光大使の増員について
--------	---

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-04-05	戦略プラン	● 協働	○ 業務	○ 財務	○ 人事
事務事業名	観光振興懇談会運営費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	石崎	担当者名	樋口
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-04-01	観光振興懇談会運営費	内線	461			
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 29年度 ○ 28年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	○ 昭和 ● 平成 18 年度 根拠						
終期設定	○ 有 ● 無 年度 法令等						
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ● 計画 ○ 非計画						
行政評価事業体系	分野	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信				
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会を開催し、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討を行う。懇談会の提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。						
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等						
内容	【平成28年度】 1 27年度作成の報告書を元に実施した事業の報告 2 29年度の事業予定 3 今後の観光施策の課題 【平成27年度】 1 区内の観光及び観光資源の現状 2 前回報告書提言内容の実施状況 3 観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えてさらなる誘客を図るため、懇談会を開催 【平成19～22年度】 18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証						
経過	【平成18年度】様々な分野の有識者で構成する観光振興懇談会を5回開催し、観光振興の目指すべき方向性と具体的施策について検討し、提言を報告書としてまとめた。 【平成19年度から平成22年度】 18年度の調査報告書、懇談会報告書の提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証（19年2回、20年3回、21年1回、22年1回） 【平成24年度】観光事業コンサルタントによる講演会、質疑応答、意見交換である研究会を1回実施 平成23年度、25年度、26年度は未実施 【平成27年度】 荒川区観光振興懇談会を3回行い、座長から区長へ報告書手交実施 【平成28年度】 荒川区観光振興懇談会を1回実施						
必要性	専門家からの提言・助言を活かすことで、より効果的な区の観光振興施策を推進していくことが出来る。						
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 ）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		773	324	189	149	743	318	300
決算額（29年度は見込み）		0	23	0	0	373	63	300
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	観光基礎調査	-	-	-	-	-	-	-
	懇談会(回)	-	-	-	-	3	1	2
	懇談会専門部会（回）	-	1	-	-	-	-	-
	研究会(回)	-	1	-	-	-	-	-

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	懇談会委員謝礼等	341	報償費	懇談会委員謝礼等	44	報償費	懇談会委員謝礼等	257
需用費	懇談会賄いほか	32	需用費	懇談会賄いほか	19	需用費	懇談会賄いほか	43

		勘定科目			27年度	28年度	差額			勘定科目			27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	-	2,272	-	行政収入	地方税	-	0	-					
		物件費	-	19	-		国庫支出金	-	0	-					
		維持補修費	-	0	-		都支出金	-	0	-					
		扶助費	-	0	-		分担金及び負担金	-	0	-					
		補助費等	-	44	-		使用料及び手数料	-	0	-					
		減価償却費	-	0	-		その他	-	0	-					
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-		行政収入合計(a)	-	0	-					
		賞与・退職給与引当金繰入額	-	115	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 2,450	-					
		その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-						
		行政費用合計(b)	-	2,450	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 2,450	-						
		特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-						
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 2,450	-						
		備考	行政費用としては、給与関係費と賞与・退職給与引当金繰入額を除くと物件費と補助費等であり、委員への謝礼43,906円をはじめとした観光振興懇談会開催に伴う関連経費を支出している。												

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	懇談会の開催(回)		3	1	2	2	

問題点・課題	平成27年度に作成された「荒川区観光振興懇談会報告書」に基づいて、地域経済の・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域活性化を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指すことが確認された。 2020年に開催予定のオリンピック・パラリンピックに向け、来訪する外国人向けの観光振興を行い、おもてなしの体制を作る必要がある。また、地域活性化の観点から区以外の組織・団体との連携を強化し、相乗効果を狙う取組が求められている。						
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)						

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	27年度に実施した懇談会における提言内容の施策への反映状況について検証する。	27年度に作成した懇談会報告書に基づき実施した事業の報告を行い、今後の課題等について提言していただいた。	今後の荒川区の観光施策に関する課題を洗い出し、解決策等についてアドバイスを頂く。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に施策に反映していくため、懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用する。

況議 (要 会 質 問 状)	平成27年予特 2020年の東京オリンピックまでに、観光客誘客のための戦略を示して欲しい。
-------------------------------	---

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	06-04-07	戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事
事務事業名	受入体制整備事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名 石崎
		担当者名	池野	内線 461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-02-03	受入体制整備事業		
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 29年度 ○ 28年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業			
開始年度	○ 昭和 ● 平成 17 年度 根拠 荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金交付要綱等			
終期設定	○ 有 ● 無 年度 法令等			
実施基準	○ 法令基準内 ● 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ● 計画 ○ 非計画			
行政評価事業体系	分野	産業革新都市		
	政策	06 人が集う魅力あるまちの形成		
	施策	02 受入体制の充実と観光情報の発信		
目的	観光案内所等を拠点とし、区の魅力を広く情報発信するとともに、来訪者の受入体制を整備するなど、おもてなしの向上を図ることで区の魅力を高め、誘客を促進する。			
対象者等	区民及び観光客、区内の宿泊施設及び飲食店			
内容	【観光案内所整備運営事業】観光案内所における観光情報の発信、日本文化体験イベントの実施 日暮里観光案内所及び南千住観光おもてなしサロンにおける観光情報の発信 南千住観光おもてなしサロンにおける日本文化体験イベント（日本舞踊、ペーゴマ等）の実施 【観光案内標識設置事業】東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基設置 18年度 南千住地区 5基設置 19年度 都電川線沿線 5基設置 20年度 汐入地区 5基設置 22年度 三ノ輪停留場標識を都から移管 【外国人来訪者受入体制整備支援事業】外国人来訪者向けの環境整備に対する補助事業 区内の宿泊施設、飲食店を営む事業者が外国語版のホームページ、パンフレット、メニュー表、看板等を新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助（平成20年度～） 【観光ボランティアガイド】まちあるきをはじめとした観光案内の実施、まちあるきガイドの養成 ガイド登録者数：123名（延べ） 現在登録者数：59名（うち休会者8名）			
経過	【観光案内所整備運営事業】 平成28年度 日暮里観光案内所及び南千住観光おもてなしサロン開設 【観光案内標識設置事業】 平成17年度 事業開始（04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え） 【観光ボランティアガイド事業】 平成18年度 養成講座の開始、ガイド活動の開始（観光情報提供事業として） 平成22年度 観光情報提供事業より移管 【外国人来訪者受入体制整備支援事業】 平成20年度 事業開始 平成26年度 要綱を一部改正（対象事業を飲食店にも拡充する） 平成27年度 要綱を一部改正（宿泊施設・飲食店ともに対象事業を拡充する）			
必要性	多言語案内や標識等の整備を進めることで、外国人をはじめとした観光客に荒川区の観光における満足度を高め、リピーターとしての来訪増加が期待出来る。			
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 ）			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		1,721	1,753	1,054	3,182	1,891	22,674	17,147
決算額（29年度は見込み）		819	592	735	2,359	1,308	8,259	17,147
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	観光案内標識設置	-	-	-	-	-	-	-
	観光案内標識内容更新・修正	5	6	5	5	-	-	20
	外国語版HP作成支援	1	0	0	2	1	1	2
	ガイド活動	26	25	29	32	23	25	30

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	ガイド養成講座講師謝礼	32	報償費	ガイド養成講座講師謝礼	1,406	報償費	観光案内所スタッフ報償費ほか	4,034
需用費	ガイド用消耗品	21	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	1,015	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	673
役務費	ボランティアガイド保険料ほか	22	役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	165	役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	230
委託料	多言語版HP作成・標識清掃委託ほか	1,121	委託料	案内所ブース製作委託ほか	4,776	委託料	標識更新委託ほか	11,421
負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	111	使用料等	案内所賃料	194	使用料等	日暮里観光案内所賃料	389
			備品購入費	案内所整備用備品	503	負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	400
			負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	200			

行政コスト計算書	勘定科目			27年度	28年度	差額	勘定科目			27年度	28年度	差額
	行政費用	給与関係費	-	14,484	-	行政収入	地方税	-	0	-		
		物件費	-	4,987	-		国庫支出金	-	0	-		
		維持補修費	-	358	-		都支出金	-	553	-		
		扶助費	-	0	-		分担金及び負担金	-	0	-		
		補助費等	-	1,624	-		使用料及び手数料	-	0	-		
		減価償却費	-	412	-		その他	-	1	-		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-		行政収入合計(a)	-	554	-		
		賞与・退職給与引当金繰入額	-	732	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 22,043	-		
		その他行政費用	-	0	-		金融収支差額(d)	-	0	-		
		行政費用合計(b)	-	22,597	-		通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 22,043	-		
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-				
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 22,043	-				
	備考	行政費用としては、給与関係費を除くと物件費と補助費等が主なものであり、外国人向け観光パンフレット作成費2,224,800円などを支出している。また、都支出金として553,000円の歳入がある。										

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	観光案内所等利用者数(人)			12,338	33,000	36,300	年度実績数 28年度開設
	外国語版HP等作成支援(件)	2	1	1	2	5	年度実績数
	観光ボランティアガイドの活動(回)	21	18	22	26	35	来訪者からの依頼に基く活動数

問題点・課題	南千住観光おもてなしサロンで実施している外国人観光客向けの日本文化体験イベントの充実を図り、より一層の賑わいを創出する必要がある。 Wi-Fiスポットの整備やデジタルサイネージの設置等旅行者の受入におけるハード面の整備が必要である。 多言語でのガイドが可能なボランティアガイドの育成が必要である。 外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金のPRを積極的に行い、事業者支援に繋げ、外国人観光客の受入体制の整備充実を図る必要がある。						
他状況の実	(実施 15 区 未実施 0 区 不明 7 区) 観光案内標識...台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他						

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	区内事業者等に対し、アンケート調査を行い、観光客の実情と事業者のニーズに即した、観光案内所を試行設置する。	区内宿泊施設にアンケート調査を行い、観光客のニーズを把握し、日暮里観光案内所及び南千住観光おもてなしサロンを開設した。	日暮里観光案内所を活用し、区内に観光客を呼び込むための工夫を行うことで、区内に賑わいを創出する。
	他自治体における観光客の受入れに対する施策等を調査し、区の受入体制に関するメニューを充実させるための検討を行う。	他自治体へ視察を行い、観光おもてなしサロンにおけるサービス内容の充実を図った。	南千住観光おもてなしサロンへの集客を図るため、周辺宿泊施設と連携し、外国人観光客に対するサービス内容の充実を図る。
	障がい者に配慮したまちあるきルートや四季を楽しめるルートなど多用な視点を盛り込んだまちあるきマップを作成する	歴史や季節などをテーマとし、10コースを掲載した観光ボランティアガイドマップを作成した。	ボランティアガイドによる案内の充実を図るため、周辺区と合同でまちあるきを実施できるよう、調整を行う。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、ユニバーサルデザインによる観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成・スキルアップの促進など、来訪者の受入環境の整備を積極的に推進する。

議 決 要 質 問 状	H20三定 外国人観光客誘致に向け、観光案内所を日暮里駅周辺へ設置すべき。 H28決特 区内の日本語学校生徒の通訳ボランティアとしての活用について H28決特 日暮里活性化施設を活用した区内への誘客について
-------------	--